

授業改善アンケート結果(2012年度)

学生による授業評価

本学では、実際に授業を受けた学生の皆さんの意見に基づいてそれぞれの授業改善に取り組んでいます。

その一つとして「授業改善アンケート」を実施しています。

これまでの授業改善アンケートは、主に教員の側の授業環境設定に注目しておこなわれてきましたが、アンケートの結果は教員の環境設定に加え、学生の授業へのコミットメントがどのようなものであるかによっても左右されます。そのため、新授業アンケートでは、教員と学生の双方が主体的に授業を改善していけるよう、学生が積極的に授業に望んだかどうかという学生の積極性と、教員がその促進を可能にする環境を積極的に与えたかどうかという教員の授業環境設定のマッチングを抽出できる内容の作成を目指しました。

授業改善アンケートの目的

第一に、学生がより積極的および能動的な学習者(アクティヴ・ラーナー)になることを目指し、これらを可能にする授業および教育環境の実現に向けた改善、学びの活性化を目的とする。

第二に、新授業アンケートの運用初期においては、本学学生の学習における積極性および各学科および授業の特性の現状を調査することを加えて目的とする。

《2012年度前期授業改善アンケート実施件数、回収率》

学科	講義				演習			
	受講人数	配付件数	回収件数	回収率	受講人数	配付件数	回収件数	回収率
芸術教養	6275	3866	3690	58.80%	2147	1741	1734	80.76%
資格	1092	876	852	78.02%	107	98	98	91.59%
美術工芸	985	615	608	61.73%	979	892	673	68.74%
マンガ	255	218	220	86.27%	401	361	342	85.29%
キャラクターデザイン	137	119	106	77.37%	226	181	147	65.04%
情報デザイン	242	188	175	72.31%	1013	868	831	82.03%
プロダクトデザイン	220	179	178	80.91%	354	321	318	89.83%
空間演出デザイン	474	349	306	64.56%	379	299	270	71.24%
環境デザイン	651	564	507	77.88%	666	552	544	81.68%
映画	212	152	113	53.30%	835	623	591	70.78%
舞台芸術	133	87	87	65.41%	103	85	85	82.52%
文芸表現	385	379	253	65.71%	207	207	142	68.60%
芸術表現・アートプロデュース	262	180	178	67.94%	69	66	66	95.65%
こども芸術	410	374	358	87.32%	337	310	298	88.43%
歴史遺産	749	578	554	73.97%	300	218	203	67.67%
計	12482	8724	8185	65.57%	8123	6822	6342	78.07%

《2012年度前期授業改善アンケート実施件数、回収率》

学科	講義				演習			
	受講人数	配付件数	回収件数	回収率	受講人数	配付件数	回収件数	回収率
芸術教養	9948	5966	5331	53.59%	1262	923	914	72.42%
資格課程	1182	870	855	72.34%	111	102	101	90.99%
美術工芸	734	610	259	35.29%	738	664	541	73.31%
マンガ	195	121	121	62.05%	397	297	294	74.06%
キャラクターデザイン	128	130	100	78.13%	1023	809	616	60.22%
情報デザイン	521	382	368	70.63%	1683	1384	1278	75.94%
プロダクトデザイン	132	91	87	65.91%	469	386	382	81.45%
空間演出デザイン	96	56	56	58.33%	810	650	541	66.79%
環境デザイン	745	471	460	61.74%	582	450	439	75.43%
映画	473	300	300	63.42%	1042	734	608	58.35%
舞台芸術	224	133	133	59.38%	685	514	514	75.04%
文芸表現	418	388	207	49.52%	344	344	166	48.26%
芸術表現・アートプロデュース	398	181	180	45.23%	203	108	107	52.71%
こども芸術	282	224	220	78.01%	291	272	261	89.69%
歴史遺産	587	387	384	65.42%	331	211	210	63.44%
計	16063	10310	9061	56.41%	9971	7848	6972	69.92%

■授業アンケート項目

- Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？
- Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？
- Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？
- Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？
- Q5. 予習・復習のためにノートやファイルなどの記録を作りましたか？
- Q6. 課題（宿題・レポート）に積極的に取り組みましたか？
- Q7. 授業の到達目標について満足な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？
- Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？
- Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？
- Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？
- Q11. 講義や板書、配布資料などは、授業ノートなどの作成に役立ちましたか？
- Q12. 課題の量と難易度は取り組むのに適切でしたか？

[回答方法]

「7. とてもあてはまる」「6. あてはまる」「5. ややあてはまる」「4. どちらともいえない」「3. ややあてはまらない」「2. あてはまらない」「1. 全くあてはまらない」の7段階評価と、別項として「0. 設問が該当しない」の選択式とした。

■授業改善アンケートの結果分析 — 教員の授業環境設定と学生の積極性のマッチング

総合的には教員の環境設定平均が学生の積極性平均を上回っており、教員の環境設定に対して学生たち自身の取り組みが十分ではないと評価しているといえるだろう。

学生の積極性(Q1～6)と教員の環境設定(Q7～12)の素点平均

	積極性平均	環境設定平均	全体平均
講義科目	5.14	5.53	5.34
演習科目	5.47	5.82	5.66
全体	5.32	5.70	5.51

学生の取り組みで特に評価の低い項目は「Q3.教員とのコミュニケーション」と「Q5.ノート、記録」である。前者は講義科目に、後者は演習科目に顕著である。講義科目では「Q4.学生間のコミュニケーション」も次いで低いため、講義科目でのコミュニケーションが必要かどうか、必要だとすればその促し方の検討が必要といえる。また、ノート、記録は講義・演習科目共に低いため、この点の改善は全学的な課題といえるだろう。本学の学生は講義科目に比べて演習科目に積極的であり、環境設定への評価も高くなる傾向があることもわかる。

設問別素点平均

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
講義科目	5.38	5.56	4.49	4.99	5.03	5.42	5.63	5.81	5.37	5.18	5.60	5.62
演習科目	5.61	5.61	5.40	5.70	4.87	5.67	5.90	6.10	5.99	5.81	5.62	5.70
全体	5.49	5.58	4.95	5.36	4.99	5.55	5.76	5.96	5.69	5.50	5.62	5.65

マッチングのズレ (単位：%)

	Q1,7 計画・達成	Q2,8 積極的関心	Q3,9 教員との Co	Q4,10 学生間の Co	Q5,11 ノート・記録	Q6,12 課題
講義科目	4.06	4.21	14.65	3.14	9.59	3.34
演習科目	4.90	8.17	9.82	1.88	12.37	0.51
全体	4.54	6.32	12.29	2.43	10.47	1.64

学科によっては学生の積極性が教員の環境設定と逆転した（学生>教員）設問がいくつか見られる。このことから、先述の「Q3,9 教員とのコミュニケーション」と「Q5,11 ノート、記録」は、教員は積極的に促しているが学生が消極的であることがわかる。一方、「Q4,10 学生間のコミュニケーション」は、学生は演習科目では積極的に行なっているものの、講義科目では消極的であり、加えて教員からの促しが消極的だと評価されているようである。また、マッチングのズレには現われていないが、「Q6,12 課題」で特に演習科目において多くの逆転がみられる。マッチングには開きがなく素点も高いため、むしろ学生を鼓舞することになっていると思われるが、演習科目での課題の量や難易度について適切かどうかは注意を払っておく必要があるだろう。

学生の積極性>教員の環境設定となった学科数

	Q1,7 計画・達成	Q2,8 積極的関心	Q3,9 教員との Co	Q4,10 学生間の Co	Q5,11 ノート・記録	Q6,12 課題
講義科目	1	2	0	4	0	1
演習科目	0	0	0	4	0	8
全体	0	0	0	3	0	5

■アンケート結果の考察

アンケートから推察される本学学生の全体の特徴は、教員の授業環境設定を概ね評価しているが、自身の授業への取り組みの積極性が追いついていないとの自己評価を持っているものと考えられる。

演習科目の満足度が特に高く積極性も高いが、課題の量、難易度はもう少し適切にして欲しい（おそらくは「減らして欲しい」「忙しい」といった思いがあるのではないかと推察される。しかしながら、この点は学生の課題への積極性を削ぐ結果にはなっていない。

他方、講義科目は演習科目に比べると消極的である。教員や学生同士のコミュニケーションに顕著であり、特に教員とのコミュニケーションは授業内で促しがあっても、他の項目に比べて取り組みにはつながっていない。受講者人数の規模や授業形態の問題もあるが、コミュニケーション要素の改善が、授業への関心や積極性につながることも考えられるため、これらの手法の検討が必要と思われる。この点は、ティーチング（教授）に加え、現在、教育力向上プロジェクトで行われているようなファシリテーション（コミュニケーションを通じた学習）の手法が役立つのではないかと考えられる。

また、全科目的にノート・記録への取り組みに消極的である。教員からの促しは認識、評価しているが、それでも取り組めていない。CAP 制度導入による予習、復習の習慣化が必要であり、そのためのノートや記録は欠かせない。学生がノート・記録を積極的にとれるようにする工夫が環境設定として全学的に必要となるため、これらの手法の検討が本学の学生の課題といえる。

2012年度 前期 授業アンケート学科別平均【講義】

■ 学生 ■ 教員

【計画・達成】

- Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？
 Q7. 授業の到達目標について満足な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？

【積極的関心】

- Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？
 Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？

【教員とのコミュニケーション】

- Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？
 Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？

【学生間のコミュニケーション】

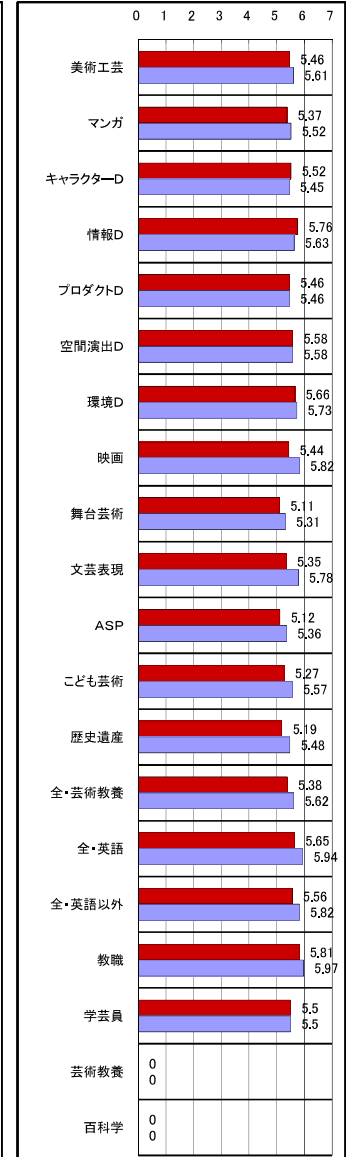
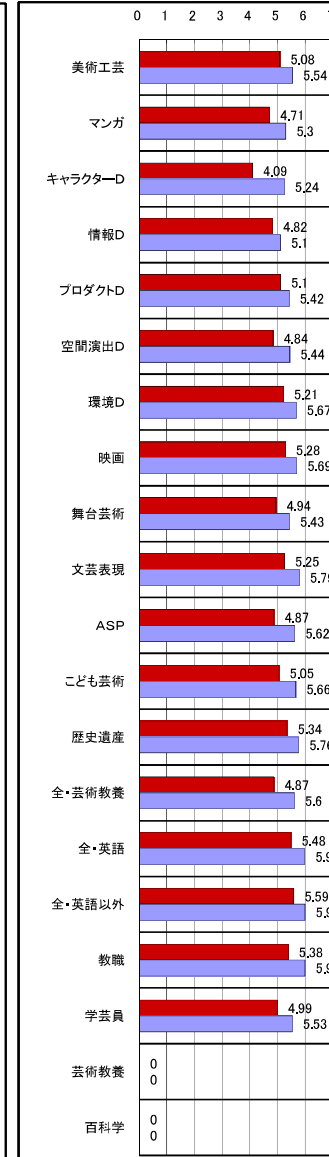
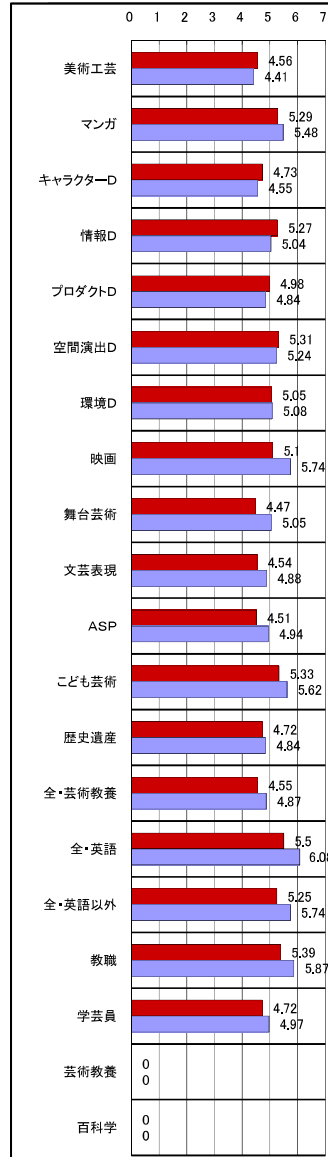
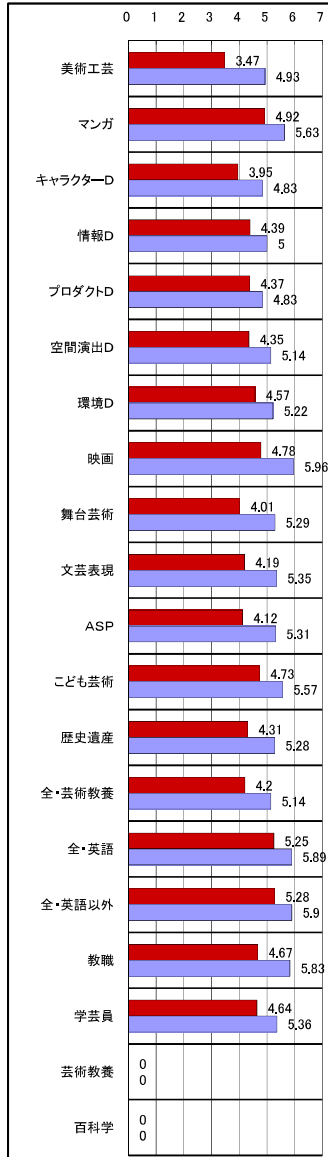
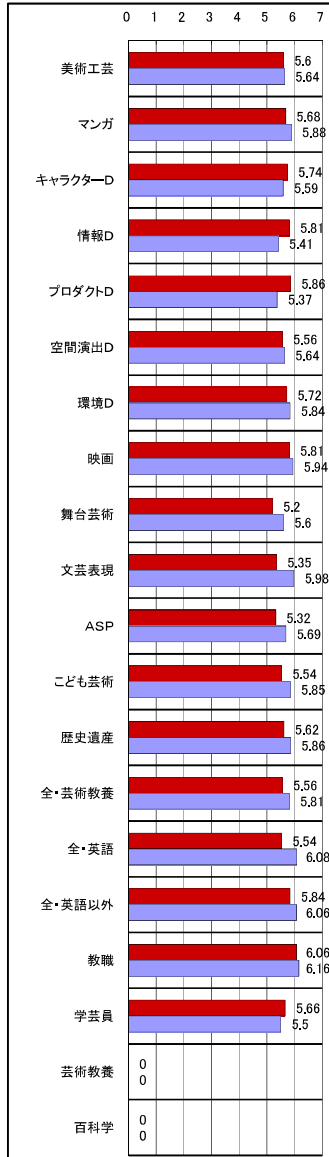
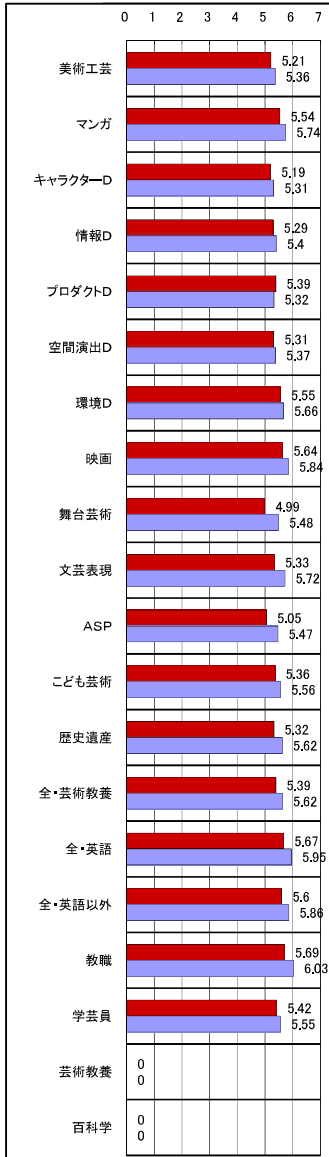
- Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？
 Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？

【ノート・記録】

- Q5. 予習・復習のためにノートやファイルなどの記録を作りましたか？
 Q11. 講義や板書、配布資料などは、授業ノートなどの作成に役立ちましたか？

【課題への取り組み】

- Q6. 課題(宿題・レポート)に積極的に取り組みましたか？
 Q12. 課題の量と難易度は取り組みの適切でしたか？



2012年度 前期 授業アンケート学科別平均【演習】

■ 学生 ■ 教員

【計画・達成】

- Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？
 Q7. 授業の到達目標について満足な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？

【積極的に関心】

- Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？
 Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？

【教員とのコミュニケーション】

- Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？
 Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？

【学生間のコミュニケーション】

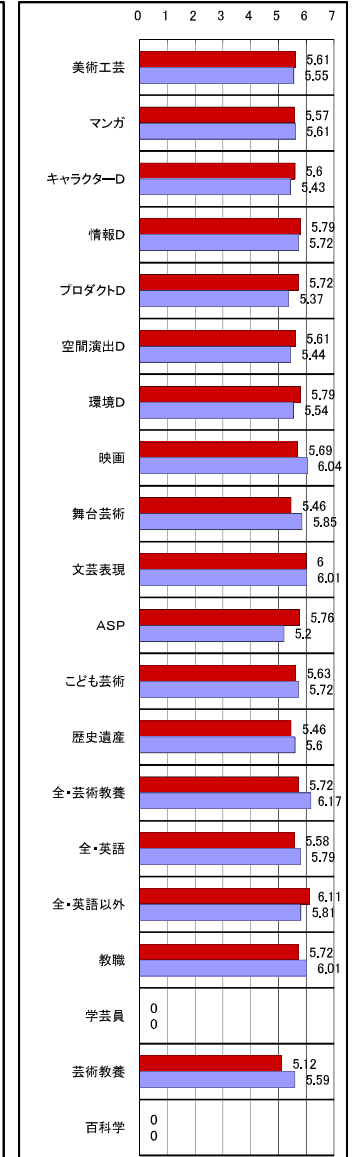
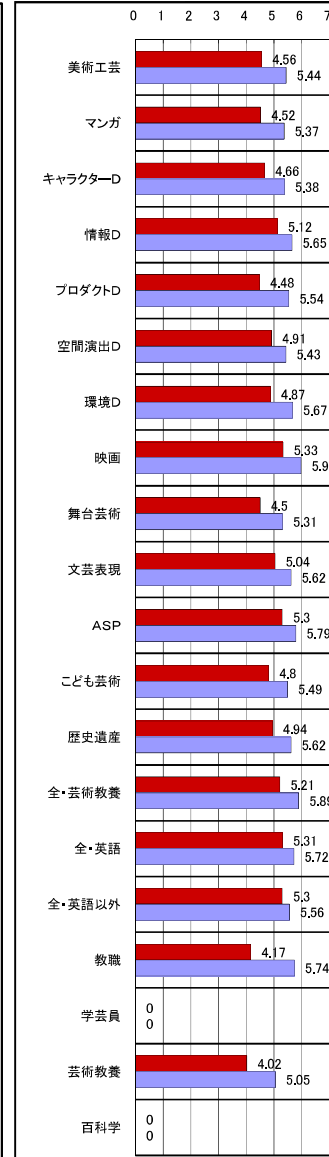
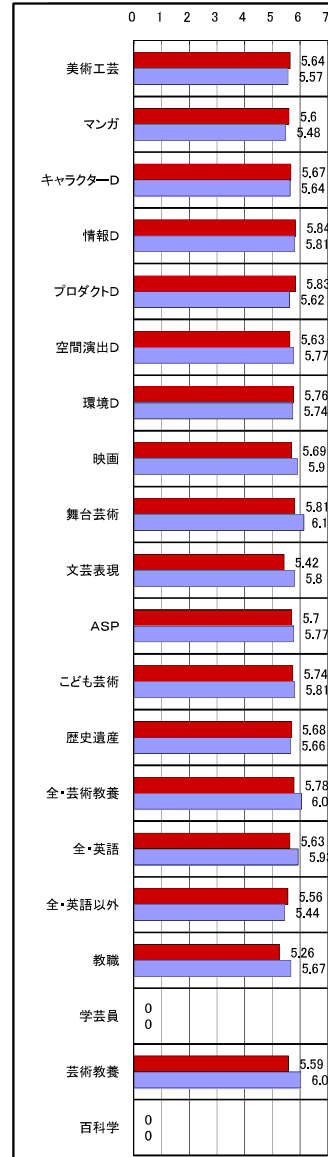
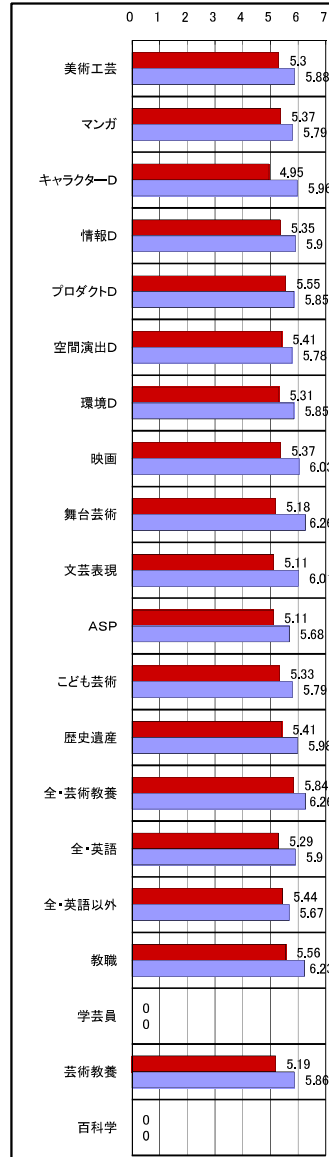
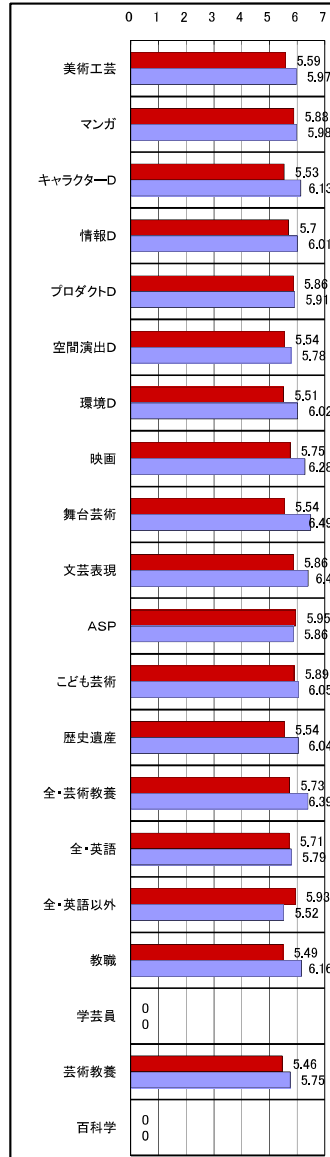
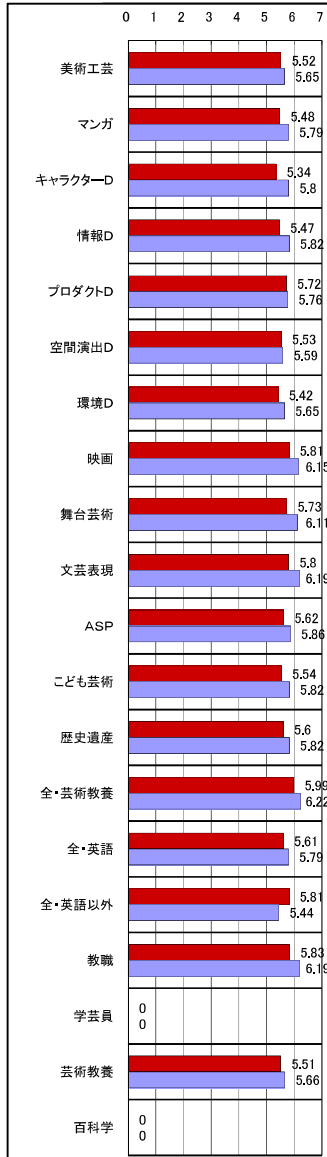
- Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？
 Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？

【ノート・記録】

- Q5. 予習・復習のためにノートやファイルなどの記録を作りましたか？
 Q11. 講義や板書、配布資料などは、授業ノートなどの作成に役立ちましたか？

【課題への取り組み】

- Q6. 課題(宿題・レポート)に積極的に取り組みましたか？
 Q12. 課題の量と難易度は取り組みのに適切でしたか？



2012年度 後期 授業アンケート学科別平均【講義】

■ 学生 ■ 教員

【計画・達成】

- Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？
 Q7. 授業の到達目標について満足な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？

【積極的関心】

- Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？
 Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？

【教員とのコミュニケーション】

- Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？
 Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？

【学生間のコミュニケーション】

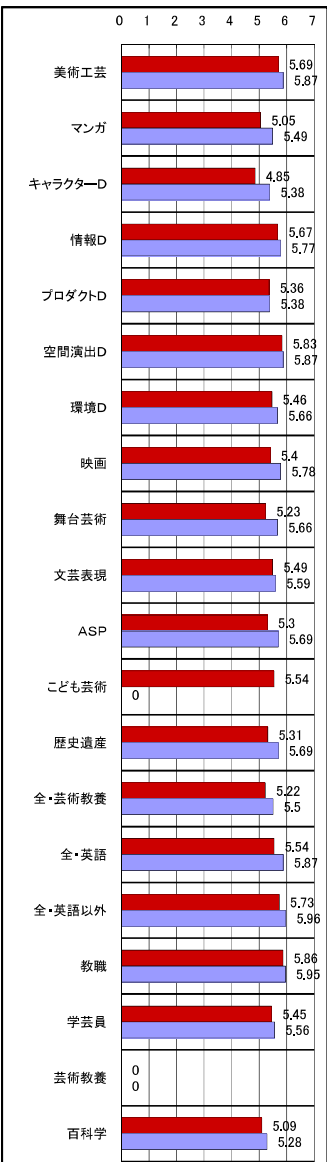
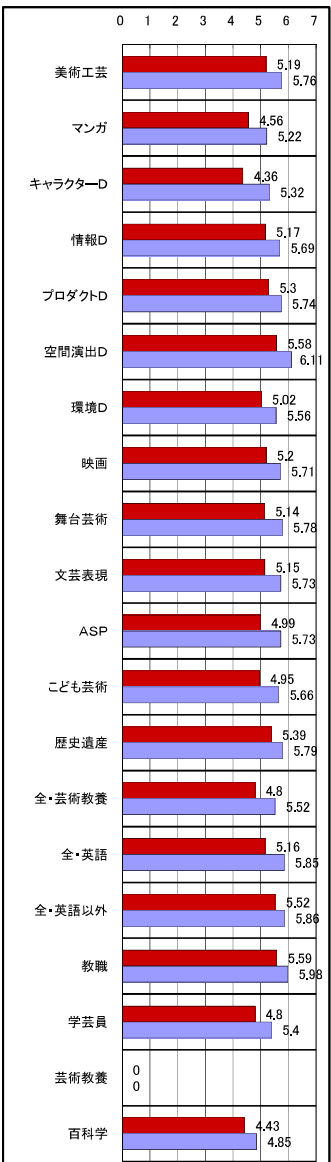
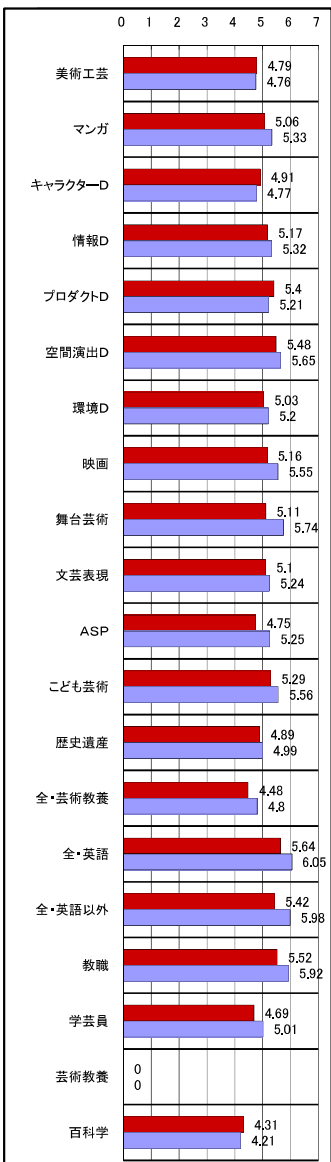
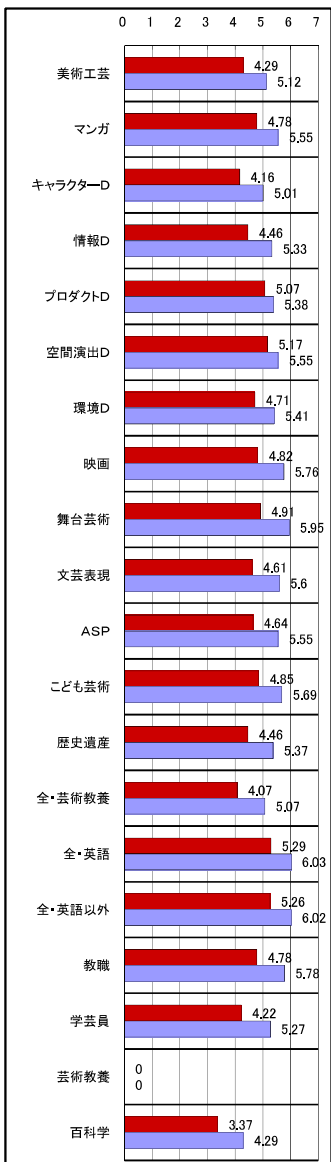
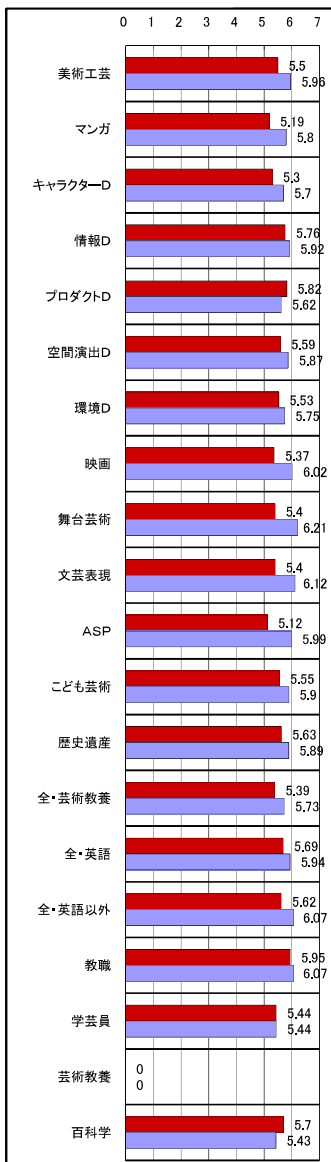
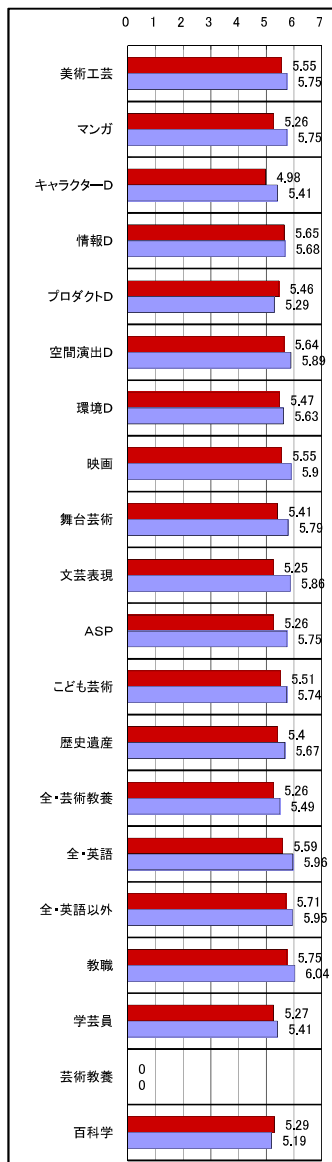
- Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？
 Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？

【ノート・記録】

- Q5. 予習・復習のためにノートやファイルなどの記録を作りましたか？
 Q11. 講義や板書、配布資料などは、授業ノートなどの作成に役立ちましたか？

【課題への取り組み】

- Q6. 課題(宿題・レポート)に積極的に取り組みましたか？
 Q12. 課題の量と難易度は取り組みの適切でしたか？



2012年度 後期 授業アンケート学科別平均【演習】

■ 学生 ■ 教員

【計画・達成】

- Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？
Q7. 授業の到達目標について満足な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？

【積極的に関心】

- Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？
Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？

【教員とのコミュニケーション】

- Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？
Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？

【学生間のコミュニケーション】

- Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？
Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？

【ノート・記録】

- Q5. 予習・復習のためにノートやファイルなどの記録を作りましたか？
Q11. 講義や板書、配布資料などは、授業ノートなどの作成に役立ちましたか？

【課題への取り組み】

- Q6. 課題(宿題・レポート)に積極的に取り組みましたか？
Q12. 課題の量と難易度は取り組みの適切でしたか？

